

公益財団法人北海道農業公社
平成29年度 第1回入札監視委員会審議概要

開催日 平成29年 4月20日(木)
場 所 公益財団法人北海道農業公社 5階会議室
委員長 伊藤 隆道 (弁護士)
委 員 太田 武司 (公認会計士、税理士)
委 員 長澤 徹明 (北海道大学名誉教授)

議事等

1 報告事項

- (1) 平成28年度入札結果に関する状況について
- (2) 平成28年度下期(10月～3月)入札結果に関する抽出案件について

2 審議事項

- (1) 平成28年度下期(10月～3月)に関する抽出案件の審議について【総件数6件】

○建設工事【制限付一般競争入札】

- ア 公社営農場リース事業 28紋別地区 第3工区
- イ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 枝幸東武地区 第3工区
- ウ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 浜中地区 第52工区

○委託業務【指名競争入札】

- ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 枝幸東部地区 第5委託
- イ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 留萌中南部地区 第3委託
- ウ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 湧別上湧別地区 第52委託

【審議概要】

委員からの意見・質問等、それに対する回答・説明等の概要は次のとおり。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>○制限付一般競争入札（建設工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格要件の中に、北海道内に営業所を有することとあるが、この資格要件については、3者とも入札資格要件は満たしているのか。 また、この資格要件にある営業所というのは、支店なり出張所なり、そういうものがあればいいと捉えていいのか。 ・ 入札参加資格要件で、どのような対象については地域を限定するのか、或いは北海道全域とするのか。地域を決める考え方はどのようになっているのか。 ・ 工事实績の要件を、100 m²以上の建築実績としたのはなぜか。 <p>○指名競争入札（委託業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名選考過程で、取り上げた案件いずれも7者となっており、予め目標の指定者数があるのか。 ・ 他の委託に比べると落札率が特に低い委託があるが、問題はないのか。 ・ 選考過程で、基本的基準に差があるが、この差は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3者とも北海道内に営業所を有しており、資格要件は満たしております。 ・ 営業所とは、本店又は支店若しくは常時建設工事の請負契約を締結する事務所をいいます。 ・ 地域要件の設定にあたっては、契約の適正な履行及び競争性を確保できる範囲内において、一定地域内に主たる営業所を有することを基本としており、A等級工事は北海道全域、B等級工事は当該（総合）振興局を基本として、応札可能者数に応じて地域を拡大しています。 ・ 資格要件については、応札可能者数が適正となるように設定しています。その中で規模要件については、検討部会で協議し、履行実績として100 m²でも充分担保できると決議した経緯があります。 ・ 建設工事等における入札事務の取扱いにおいて指名業者数を定めており、委託業務については原則として7者以上としています。 ・ 入札・契約については、総合的に判断し、問題はありませんでした。 また、履行については、十分に注意して対応しました。 ・ 建築業法の資格が建築と土木の差です。

注) 一部重複する確認事項等については除くものとする。

(2) 平成28年度入札契約制度に関する入札監視委員会の所管事務総括について

【意見の具申又は勧告】

公益財団法人北海道農業公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第8に基づく「意見の具申又は勧告」に関し、平成28年度の抽出案件に係る審議又は現地調査の結果から、入札・契約手続の運用状況等について、適切を欠くなど是正すべきことはなかったと判断する。

【再苦情の処理】

公益財団法人北海道農業公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第9に基づく「再苦情の処理」に関し、平成28年度の工事等における全案件について、再苦情の申立てはなかった。

3 協議事項

(1) 平成29年度北海道農業公社入札監視委員会の活動計画について

ア 平成29年度建設工事・委託業務発注予定一覧

イ 平成29年度建設工事発注予定概要

ウ 平成29年度委託業務発注予定概要

エ 平成29年度北海道農業公社入札監視委員会の活動計画（案）